

野外で芝居をするということは、劇場がリアルに踏み入れているところに面白さがあると思う。

通常、舞台と客席が分かれているように、人は物語に対して線を引いている。

しかし野外では違う。

観客が引くのではなく、物語が線を引くのだ。

舞台はとあるマンションの1室。

女が蛾の幼虫を見つけたところから、虫の湧き出る穴のありかを探すうちに、次第に部屋は森へと姿を変える。

生んだはずのない子供。森の番人。

やがて観客のいる世界は、物語にとっての妄想となり、ふたつの世界のバランスが崩壊する。

菌がやぶられ、境目が互いに浸食を始めたとき、あなたはどちらの世界に在るのだろうか。

早稲田小劇場とらま館起工記念

第7回 早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業 学生演劇公演

2014.9.6sat-9.7sun

start 18:30 (open 18:00)

みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアム

芝生広場(雨天時エントランスホール)

入場無料・予約不要・全席自由

東京プレ公演

8.29fri 17:00(open 16:30)

大隈記念講堂 大講堂

*終演後、奥山雄太氏(乃りえ)を迎えての
アフターイベントを行います。

HP <http://paralyzed-paula.com>

企画 早稲田大学演劇倶楽部

出演 福澤香織(劇団森) 峰松智弘(劇団百目狂舞一行様) 他

舞台監督 横山翔一(劇団森) 音響 かわいあかね(ヤベック) 照明【美濃加茂公演】井上真佑

照明【東京プレ公演】朝島榮吉 宣伝美術 山崎朝 制作 山岸大樹 制作補佐 井之口文女(劇団森)

「早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業 学生演劇公演」について

2007年に、美濃加茂市と早稲田大学は、文化交流協定(※)を締結し、2008年より毎年、早稲田大学の学生による演劇公演を実施しています。本企画は演劇・舞台芸術の発展に多大な貢献をした坪内逍遙の精神に倣って開始されました。学生劇団が、みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアムに6日間滞在しながら稽古をし、野外で作品を発表します。美濃加茂の自然を活かした、ここでしか見られない公演をお楽しみください。

(※美濃加茂市出身で早稲田大学で教鞭を取った坪内逍遙博士、津田左右吉博士を共通項とし、文化事業について協力し合うこと、相互発展と地域社会の活性化、学問研究の向上に寄与することを目指し締結。)

「早稲田小劇場とらま館」について

早稲田キャンパスに沿った南門通りには、現在世界的に活躍されている演出家・鈴木忠志氏をはじめとする劇団早稲田小劇場が建設した同名の劇場がありました。「早稲田小劇場」は当時の小劇場運動の中心的な劇場として数々の名作を世に送り出し、訪れた人々に大きな影響を与えました。その後、劇場は「早稲田劇場魔館」として学生劇団の発表の場として長年親しまれてきました。残念ながら耐震強度不足により2012年10月に一度その幕を閉じましたが、この度、学生の提案がきっかけとなり、跡地に「早稲田小劇場とらま館」として新しい劇場が建設されることになりました(2015年3月完成予定)。完成後は主として学生サークルの演劇公演等に活用されることになります。

早稲田大学ではとらま館の起工を記念し、様々なイベントを開催します。どうぞお楽しみに。

早稲田大学演劇倶楽部(通称・エンクラ)

過去にボッパール(第50回岸田國士戯曲賞受賞)、乃りえ(第3回シアターグリーン学生芸術祭最優秀賞受賞)等を輩出した新進気鋭の演劇サークル。鍛えられた身体性と自由な気風を特徴とする。来年、創立30周年を迎える。

ポールは嘘をついた

早稲田大学演劇倶楽部から派生した演劇ユニット。脚本・演出の鈴木りりせを中心に、これまで本公演・番外公演合わせて7作品を発表している。ユニット名はparalyzed(麻痺)→Paula lies/liesの日本語訳。「麻痺」をコンセプトに、慣習や過去、観念に囚われた人々が内面から生まれる幻想に次第に侵されていくさまを描く。

【お問い合わせ】

みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアム
〒505-0004 美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1
TEL:0574-28-1110 FAX:0574-28-1104
Email:museum@forest.minokamo.gifu.jp
URL:<http://www.forest.minokamo.gifu.jp>

主催:みのかも文化の森/美濃加茂市民ミュージアム・早稲田大学文化推進部文化企画課
協力:坪内逍遙博士顕彰会

<交通アクセス>

- 鉄道 JR名古屋駅から美濃太田駅まで特急で約40分
美濃太田駅北口から徒歩約17分
- 自動車 名神高速道 小牧ICから約35分
中央自動車道 多治見ICから約35分
東海環状自動車道 美濃加茂ICから約5分
- あい愛バス「文化の森公園線」JR美濃太田駅北口から約8分
(土・日・祝日は1日7往復)



脱衣する蛹

脚本・演出 鈴木りりせ